

平成26年度予算見積調書

課室名：防犯・交通安全課
 担当名：安全教育・指導担当
 内線：2961

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B58	共助による自転車安全利用の県づくり推進事業費			一般会計	総務費	県民費	交通安全対策費	交通安全教育推進事業費	
事業期間	平成24年度～	根拠法令	埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例			戦略項目	12 日本一の共助県づくり		
						分野施策	010402 交通安全対策の推進		
1 事業の概要 埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例に基づく「自転車安全利用指導員」による自転車の安全な利用の促進を図り、住民共助による自転車安全利用を進める埼玉県づくりを推進する。 (1) 自転車安全利用指導員の育成・支援 7,480千円 (2) 駅周辺自転車駐車場における自転車交通安全対策 968千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 自転車安全利用指導員の育成・支援 7,480千円 自転車安全利用の共助県づくりの中核(リーダー)として「自転車安全利用指導員」を委嘱し、その育成及び活動の支援を行うことにより、自転車利用者のマナー向上と自転車関係する交通事故を防止する県民運動を展開する。 イ 駅周辺自転車駐車場における自転車交通安全対策 968千円 駅周辺自転車駐車場と連携し、目立つ場所にポスター等を掲示、チラシ配布するなど、利用者への交通安全を呼びかける。 (2) 事業計画 ア 自転車安全利用指導員の育成 埼玉県自転車安全利用指導員連絡会及び研修会の開催(4月、10月) イ 自転車安全利用指導員の支援 (ア) ボランティア保険への加入 (イ) 自転車安全利用啓発品の作成・郵送 (ウ) 自転車安全利用指導員及び市町村連絡会への情報提供(随時) ウ 駅周辺自転車駐車場における自転車交通安全対策啓発活動(5月) (3) 事業効果 自転車安全利用の県民ムーブメントにより、自転車利用者のマナー向上が図られるとともに、自転車の安全利用について県民が相互に助け合う地域づくりが進むことになる。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 自転車安全利用指導員、市町村、警察署、交通安全ボランティアとの連携 (5) その他 変更点 駅周辺自転車駐車場における自転車交通安全対策を新設					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との 対比
決定額	8,448							8,448	653
前年額	7,795							7,795	